

2010.2.15
平成22年 15号

発行：多可町教育委員会
〒679-1134 多可郡多可町中区茂利20
☎0795-32-1250
E-mail shakaikyoiku@takacho.jp



おもな内容

- ・教育委員会特集
岸原教育長とあいさつ
中学生ボランティアサークル
- ・びっくあっぷ学校園
- ・多可町の先輩
播州歌舞伎クラブ
- ・子ども向けイベント情報
- ・あっぱれ多可キッズ
- ・知っ得Taka Town

ごあいさつ



余寒の候、皆さまにおかれましては益々健康にてお過ごしのこととお喜び申し上げます。

さて私、1月1日付けで前任の小林教育長の後、多可町教育長と拝命いたしました。改

めて身の引きまわす思いでござい

現在、町内14校園については、子どもたちの学習意欲・学力の問題、規範意識の問題、不登校の問題など、それぞれの学校園が課題を抱えています。こうした課題を解決していくには、一人ひとりの教師の指導力と、それを束ねて大きな力にする学校の組織力の一層の向上が必要であると考えています。校園長を中心に、学校あげて特色ある取組をしていきます。そしてこれらの社会を担う子どもたちに、「確かな学力」、「豊かな心」、「健やかな体」などの「生きる力」を身につけると共に、保護者や地域の人々から信頼される学校づくりに努めていきたいと思

平成二十二年一月吉日

中学生ボランティアサークル活動報告

中学生の地域をはじめ学校外での活躍の場を設定し、ボランティア活動を通して、様々な人と関わり、地域の一員としての自覚と有能感を高めることと、企画・運営の楽しさ、そして大変さを体験することで、ボランティアとしての資質向上をめざすことをねらいとして、今年度より多可町中学生ボランティアサークルを発足しました。

町内3中学校の全生徒に呼びかけるところ、中学3年生を中心に92名の生徒が登録申込みをしてくれました。(中学3年生72名、中学2年生16名、中学1年生4名)友だちから活動の話を聞いて途中から登録を希望してくれた生徒もありました。

児童館や子育てふれあいセンター、子ども会育成連絡協議会、社会福祉協議会等からの依頼に応じて、事業開催区を中心に各登録者にボランティア参加の案内を届け、都合のつく希望者に参加し、活動してもらいました。

また、中学生ボランティアが主体となって計画・実施したキャンプでも活躍してくれました。ボランティアに参加した生徒たちはとても前向きで、進んで人と関わ

ろうとする姿が見られました。人との関わりを自分も楽しみながら、役に立てていることを実感できている様子で、活動中とてもよい表情でした。

今年度は、事業初年度ということもあり、活動の場を子ども関係と福祉関係に限定していましたが、多可町子ども議会の中で中学生から「地域活性化のためにボランティアとしてもっと地域の人の関わる機会が欲しい。」という「ボランティアの活動について」の前向きな意見も出てきており、社会教育委員会でも地域でのつながりを深めるために来年度は地域の行事に参加できる機会をつくっていくことが望ましいという方向性が示されました。

来年度は地域のみならずと一緒に活動できる場を開拓していきたいと考えています。

平成21年度の活動(12月まで)

◇ボランティア依頼への参加
児童館や子育てふれあいセンター、子連協、社会福祉協議会から依頼があった13事業にのべ93名がボランティアとして参加してくれました。

◆児童館

○おもしろ理科教室

「手作りスライムで遊ぼう!!」

(6月6日) 参加者4名

「君もリトマスはかせ」

(6月20日) 参加者4名

「太陽で温泉卵づくり」

(7月4日) 参加者1名

「宗介の蒸気船をつくろう!」

(8月22日) 参加者5名



おもしろ理科教室
「太陽で温泉卵づくり」

○わくわく体験教室

「お父さんの出番です」

「ダンボールオープン」

ピザトーストづくり
(6月28日) 5名参加

○かえっこバザール

「かえっこバザール in 多可町」

(八千代公民館) 10名参加

「かえっこバザール in 多可町」

(中児童館) 4名参加



かえっこバザール
in 多可町
(八千代公民館)

○児童館まつり

(8月30日) 18名参加



○兵庫県児童館フェスティバル

(姫路) (11月1日) 1名参加



兵庫県児童館フェスティバル
「しめ縄づくり」

◆子育てふれあいセンター

「夏だ!宝探しと水遊び」

(7月18日) 6名参加



◆子ども会育成連絡協議会

「野外活動リーダー研修会」

レッツ エンジョイ キャンプ」

(6月13・14日) 8名が2日間参加



「風づくり教室」

(12月20日) 1名参加

◆社会福祉協議会

「社協まつり」

(10月4日) 26名参加



◇中学生ボランティアが主体となる活動

○アドベンチャースクール

「初めてのわくわくキャンプ」

5名が3日間参加

夏季休業中の小学生体験活動「アドベンチャースクール」のキャンプで、計画の段階から中学生ボランティアに入ってもらい意見を取り入れました。運営でも役割を持って活動してもらいました。



キャンプ計画会
(7月27日)



初めてのわくわくキャンプ
(8月6・7日)

◇ボランティア研修への参加

○飛び出せボランティア体験教室

23講座中12講座に26名(延べ52名)参加

参加

ぴっくあっぷ学校園

中町北小学校

★今までだったら半分以上の人があいさつをしなかったけれど、一日目、二日目とだんだんあいさつをする人が増えてきました。さらに良かったのは笑顔であいさつをしてくれたことです。

六年生の作文から

あいさつの輪を広げよう！

人とのふれあいは、まず、あいさつから。あいさつを通してお互いが心を開き、お互いを理解し合い、仲良く毎日を過ごしていきたい。

こんな思いを持ち、中町北小学校の児童会では、「あいさつができる子」100%を目指してあいさつ運動を始めています。毎朝当番を決め、肩から黄色のたすきを掛けて校門に並び、登校してくる友だちに元気よく「おはようございます」とあいさつをしています。



友だちに おはよう！

「あいさつの輪 広げ隊」



「あいさつの輪広げ隊」に参加した児童も、大きな声であいさつを返してくれるので、日ごとに進んであいさつをし始めました。

このあいさつ運動は、未だ始まったばかりです。これから運動の輪を広げていかなければなりません。自分から自然にあいさつの言葉が出るように、そして、さわやかな笑顔もいっしょに届けて。

家族、友だち、先生はもちろん、近所の人や地域で出会った人にも進んであいさつするように頑張ります。

★みんな返事をしてくれるかなと不安だったけれど、ほとんどの子が返事をしてくれました。あいさつは、みんなが気持ちよくなるとてもいい言葉だなあと、改めて思いました。私は、「おはようございます」以外でも「ありがとう」「ごめんなさい」も言えるようになりたいです。

松井小学校

十月に行われた恒例の千ヶ峰登山（秋の遠足）では、引率ボランティアとして多可山岳S.T.のみなさんを始め保護者の方を含めて40名以上の方が参加してくださいました。当日は天候にも恵まれ、一人の落伍者もなく安全な登山を行うことができました。

12名の図書ボランティアのみなさんには、毎週火曜日から金曜の午前中に活動していただいています。本の管理や図書室内のディスプレイをお願いしています。また、子供達が楽しみにしている読み聞かせ会を年に4回行っています。



読み聞かせ会

ボランティアのみなさん ありがとうございます



スマイル鍋



千ヶ峰登山

地域と保護者に 支えられて

松井小学校では、保護者や地域の方々の持ちうる専門的な知識や技能、経験や体験を、学校教育活動の中で提供していただき、児童の学習活動や学校行事のより一層の充実を図っています。その一端を紹介いたします。



そばの刈り取り

3年生が取り組んでいる環境体験学習では岩座神棚田保全推進協議会の方や地域の方にお世話になって、棚田の保全作業やそばづくりに挑戦しました。そばづくりは種まきからそば打ちまで体験することができました。

6年生が昨年取り組んで、足立醸造さんの蔵で一年熟成させた味噌を使った豚汁（スマイル鍋）を、十一月のオーブンスクールで来校のみなさんに振る舞いました。地域の方に準備からお手伝いいただきました。あまった味噌は区内の給食にも利用されました。

その他、4年生の福祉学習や1年生の生活科など多くの学習の場で、保護者・地域の方々に協力していただきました。ありがとうございます。

中町幼稚園



中町幼稚園では、新しい学期が始まりカルタ・風揚げ・こま回し・羽根つき・すごろくなどのお正月遊びが大ブームです。

カルタは冬休みの間、お家の人とたくさん一緒に遊んだようで、とても速く札を取れるようになっていきます。友だちと遊ぶ中で、文字や数に対する興味・関心を広げられたらと思います。



風揚げでは、運動場を所狭しと走りまわっています。風の無い日も、速く走って高くまで揚げようと猛ダッシュ。これから風の向きや強さなどにも気づかせていきたいと思っています。中町幼稚園のつぼのケヤキに引っかかってしまうこともありますが、天までとどけ♪と大空へ舞い上がらせています。

こま遊びでは、友だちとどちらが長く回っているか競争したり、おじいちゃんやおばあちゃんに教えてもらった技を披露したりしています。めざせこまチャンピオン！



松井幼稚園

☆野菜を育てたよ☆

松井幼稚園では、春から一年をかけて四季折々の色々な野菜を栽培し、食育活動を行っています。種から育てたり、苗から育てたりと様々でしたが、自分たちで水をやり育てていくことで、野菜の生長や変化に気づくことが出来ました。



はる 早くおおきくなあれ！
畑にきゅうり・トマト・なすび・とうもろこし・たくさんの苗を植えたよ！
♪「どんな、野菜ができるのかなあ〜？」

地域の方のご好意で、キツマイモの栽培をさせていただきました。

あき みて！でふいも発見！
おおきなさつまいもが、沢山採れました。焼き芋や、ホットケーキにしておいしくいただきました♪



ふゆ ふゆ野菜にも挑戦！
大根・チンゲンサイ・ほうれんそう・冷たい気候に耐えて大きく育っています。これからの生長が楽しみです♪



なつ なつ野菜が大きく実ったよ！収穫だ！
「このオクラ、おいそうや〜！」
春に植えた苗が大きく育ち、みんなで収穫しました。たくさんの野菜を使って、保護者の保育ボランティア「サザエさん」と一緒にポテトサラダ・野菜サンドを作り、日頃お世話になっている地域の方々に招待してパーティーを開きました。（7月下旬）



ぴっくあっぷ学校園

八千代中学校

いろいろな活動や交流を通して、心が通い合う喜びや優しい心・福祉に対する実践力が育っています。



楽久園との交流をおして

八千代区にある養護老人ホーム「楽久園」と関連する福祉施設に入所されている方との交流は長く続いています。年に二回の「楽久園訪問」でのボランティア活動をはじめ、お年寄りを体育祭に招待したり、吹奏楽部が訪問演奏を予定したりしています。

そして、昨年より年賀状の交換をしています。一人一枚ずつ心を込めて書いた年賀状を送っています。お年寄りの方からもあたたかくてやさしい返事をいただいています。

育っています。優しさ・思いやり・実践力

生徒の感想より
「たすけあい」「思いやり」「しあわせ」の言葉はすくしい言葉だと思った。
自分も、人のために何かをしたり、それを無意識にできるようになればいいな...と思った。たくさんの方の思いやり、たすけあいがあったからこそしあわせだと思った。

毎年赤い羽根の募金が行われます。八千代中学校でも、生徒会が中心となって募金を呼びかけました。文化祭には生徒会役員が、体育館の玄関や中央廊下などで募金活動を行いました。

道徳でも赤い羽根の募金の歴史や義援金の使われ方などを知るとともに、赤い羽根の心である「たすけあい」「思いやり」「しあわせ」について学びました。



赤い羽根共同募金から学ぶ

八千代南小学校

「わくわくタイム」で伝え合いかわり合おう

本校では今年度、「考えや思いを伝え、かわり合う子どもたちの育成」を研究テーマとして、日々の教育活動に取り組みできました。特に、道徳の時間や特別活動に重点を置き、講師を招いて低・中・高学年それぞれの学年で研究授業を行い、効果的な指導法や授業づくりを目指して研究を進めてきました。

その特別活動の一つとして、「わくわくタイム」と題した全校生向けの学習発表も行ってきました。発表までの練習や準備において、児童が友だちや教師と関わり、互いに思いや考えを伝え合う中で一つの作品を作り上げることができました。

今年度、「わくわくタイム」ではこんなことを発表しました！



5年生の発表の様子

- | | |
|------------------------|---|
| 1年生：声に出して楽しく読もう「くじらぐも」 | 5年生：平成21年度 5年生 自然学校へみんなで協力しあい楽しんだあの思い出を今ふたたび... |
| 2年生：育てて食べて学んだよ食育発表会！！ | 6年生：俳句で綴る思い出の修学旅行 |
| 3年生：3年生、初めての環境体験学習 | |
| 4年生：リコーダー演奏「とんび」&特技紹介 | |



「威風堂々」のリコーダー奏

八千代北小学校

世界の子ども達へ

エコキャップ運動

「ペットボトルのキャップを集めて、世界の子どもの命を救おう！」をキャッチフレーズに運動をしてきました。今年は、校内での収集に加えて、町内のいろいろな施設に、収集箱を置かせていただき、協力をお願いしました。一人の力では、難しいことも多くの力を結集すると大きな力になります。その結果、昨年度を大幅に上回るキャップを集めることができています。運動にご協力いただいた皆さんに感謝いたします。

集まったキャップは、社会福祉協議会に贈呈します。そして、NPO法人「エコキャップ推進協会」を通じて、人道支援に役立ててもらおうことになります。

児童の作文より

八千代北小学校では、昨年からペットボトルのキャップ集めをしています。ペットボトルのキャップ800個でワクチン一人分と交換することができ、ワクチンが必要なら国へ送られています。今年だけで、現在（12月1日）の個数は、約162400個です。これで約203人分のワクチンと交換できます。

今年度は、ペットボトルのキャップ集めは地域の方も協力してくださっています。ありがとうございます。私達は二月いっぱいまで集めるのでこれからもよろしくお願いします。



ありがとうございました。



集まったキャップ

北はりま特別支援学校

兵庫県北はりま特別支援学校

〒679-1112 兵庫県多可郡多可町中区間子602-1
TEL (0795) 32-3672, FAX (0795) 32-3967
<http://www.hyogo-c.ed.jp/~kitaharima-sn/>

おかげさまで創立30周年！

去る10月24日、創立30周年記念式典をたくさんのお客さんをお迎えして盛大にとり行うことができました。式典に続いて学習発表会では小中が劇発表、高等部が実習発表を行い、来客の方から暖かい拍手をいただきました。30周年を一つの区切りとして地域における特別支援教育のセンター校として、より一層の活動をしてまいりたいと思いますのでご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。



校訓
明るく
仲良く
生き生きと

心つながる交流ありがとうございました！

今年度も中町南小学校、中町北小学校、中町中学校、多可高校と交流会を持ちました。一緒に公園に行ったり、ゲームを楽しんだり和やかな時間が持てました。また何人かは、居住地の学校にも出かけ、近所の友達と触れ合えました。長年続いている八千代中学校、八千代北小学校との交流はインフルエンザの流行で今年度は中止になりましたが、今後も交流を通じて地域ぐるみで本校生を育てていただきますようよろしくお願いいたします。



松井小学校で3年生のみんなとカルタ取りをしたよ。楽しかった！

北風に負けるか！～多可町駅伝12/6～

ジョギングの部に参加、地域の子も速と競い合っていました。寒い北風の中、みんな力いっぱい走り抜きました。



トピックス！

- ・12月17日～21日原田の森ギャラリーで開催されたみんなのアート展(兵庫県特別支援学校等作品展)において昨年度に引き続き知事賞を受賞しました。
- ・去る12月17日シンガーソングライター白井則孔さんが本校を訪れ、オルゴールを通して子どもたちと交流を深めました。



多可町中央公民館播州歌舞伎クラブの皆さん

1月17日(日)、阪神淡路大震災からちょうど15年目のこの日、西宮市の県立芸術文化センターで県民創作公演「播州歌舞伎」が開催され、多可町中央公民館播州歌舞伎クラブの皆さんが出演をしました。芸術文化センターは、阪急西宮北口駅の南となりであり、震災復興のシンボルとして建設された西日本で最高と言われるホールです。多可町からも子どもからお年寄りまで140名を超える大勢の皆さんの皆さんが応援に駆けつけました。

このすばらしい舞台に立つのは、地元の若い女性を中心となって活動する多可町中央公民館播州歌舞伎クラブ。第1部は播州歌舞伎の「寿式三番叟」です。三番叟は主に農作物の豊作や、人々の幸せを祈って演じられます。この「寿式三番叟」には、全国いろんな地域で演じられる三番叟にはない播州歌舞伎だけの演出がたくさんあり、歌舞伎にわからない方も「おもしろい」「めずらしい」といった感想を言っておられました。



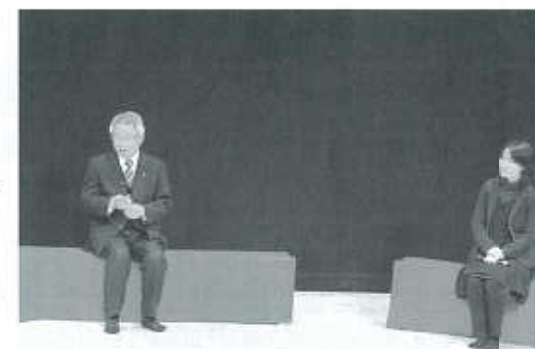
県立芸術文化センターの外観



播州歌舞伎の「寿式三番叟」



中村和歌若師匠(聞き手は河内厚郎氏)



戸田善規町長と橋間美穂さん

「寿式三番叟」のあとには、「受け継がれる播州歌舞伎」と題したトークが行われました。前半に出演した中村和歌若師匠は、3才の頃から子役として舞台上上がったのをスタートに播州歌舞伎一筋のプロの播州歌舞伎役者さんです。播州歌舞伎の演目が全てわかり、どんな役柄でもその場ですぐに演じることが出来る播州歌舞伎の第一人者でもあります。トークでは播州歌舞伎とはどのようなものかについて笑いを交えながら、わかりやすくその魅力を語られました。後半には、地元多可町を代表して戸田善規町長と、播州歌舞伎クラブの橋間美穂さんが出演し、多可町の魅力や播州歌舞伎に取り組んできたことばれ話などを語られ、こちらも和やかなムードのトークとなりました。



た。やはりそれぞれの立場の人からの生の声は、観客の皆さんにとってもわかりやすく、播州歌舞伎と多可町をしっかりとアピールすることができたと思います。トーク中には、南光子供歌舞伎クラブ、県立播磨農業高等学校播州歌舞伎部、中町北小学校播州歌舞伎クラブの公演や練習風景のVTRも上映され、県内で播州歌舞伎に取り組む全ての団体が共演を果たすこととなりました。



「合戦の様子を知らせる熊谷の語り」



名場面「制札の見栄」



多くのお客様で賑わう特産品コーナー

いっぽう、会場のロビーでも多可町の特産品販売ブースをつくり、この日のために用意された巻き寿司や鶏飯の具など、多可町を代表する特産品が大好評でした。

かしこく、うれしい気持ちになりました。多可町の魅力を強く感じられた方も多くおられました。地域に元気を与えるのは、やはり人々の元気だと思っています。子どもも大人もみんな元気。トークの場面で戸田町長も話されましたが、地域活動や文化活動などを柱として、それに熱心に取り組んでおられる方々が互いに協力し、その元気をどんどんアピールすることが、多可町の魅力アップやまちに住む人々のまとまりにつながっていくのではないのでしょうか。今回の県民創作公演「播州歌舞伎」を通じて心にうるおいと元気を与えられたような気がしてなりません。また、ふるさと多可町を誇りに思いました。多可町のすばらしい先輩に拍手。



中町北小学校播州歌舞伎クラブ

第2部は「一谷嫩軍記 熊谷陣屋の段」。神戸を舞台に主人公の熊谷直実が大将源義経の思いを察し、自分の息子小次郎を、平教盛の身代わりに殺すという悲しい名作を、昨年10月にベルデールホールで開催された多可町伝統芸能フェスティバルに続いて演じます。播州歌舞伎クラブ員は中村和歌若師匠の熱心な教えを受けながら、この日のために日々の練習に取り組み、その芸のがんばりがあって、ピーンとはりつめた緊張感と豪快さをもって見事に演じていました。この日のために新しく作られたすばらしい舞台セットやきらびやかな衣装、そして会場の皆さんの声援が相まって、感動と盛大な拍手の

中で幕となりました。播州歌舞伎クラブ代表の山根加織さんは舞台後のあいさつで「播州歌舞伎を、芸術文化センターの舞台で多くの皆様にご覧いただき、感激と感謝の気持ちでいっぱいです。私たち多可町中央公民館播州歌舞伎クラブは、このすばらしい伝統を受け継ぎ、伝えるために、これからもますます精進して参ります。この思いは、南光子供歌舞伎クラブ、播磨農業高等学校播州歌舞伎部、中町北小学校播州歌舞伎クラブも同じだと思います。まだまだ未熟なものばかりですが、今後とも播州歌舞伎をよりよくお願いいたします。」と、県内で播州歌舞伎に取り組む全ての団体を代表して、感謝とこれからの決意を述べました。

公演について、会場の皆さんからは「すばらしく感動しました。再演を望みます。」「歌舞伎ファンですが、播州歌舞伎の演出の細かさに驚きました。」「県内にこのようなすばらしい伝統芸能があるとは知らなかった。」「今日1日でファンになりました。今後の公演には追っかけをさせていただきます。」「ぜひ多可町に行ってみよう。」「私の実家の近くのので、とてもなつ

2月

日付	曜	内 容	会 場	対 象	参 加 費	お問合せ・申込先	分 類
2月6日	土	デコ勾玉づくり くみひも草履づくり	那珂ふれあい館	幼稚園児以上 小学5年生以上	350円 350円	那珂ふれあい館	体験
7日	日	勾玉づくり 親子で発掘体験 さらさらハートのデコ勾玉づくり 森のお菓子くるくるバームクーヘン 多可町音楽祭	那珂ふれあい館 那珂ふれあい館 ガムチ八千代ふれあい園 ベルディーホール	幼稚園児以上 どなたでも どなたでも	150円～200円 150円 400円 300円 無料	那珂ふれあい館 社会教育課 ベルディーホール	体験 体験 芸術
13日	土	陶芸体験(ひなまつり編) ちぎり絵教室 弓張美季withPACオーケストラ 播州織の布ぞうりづくり	那珂ふれあい館 ベルディーホール 湖畔の広場	幼稚園児以上 どなたでも 中学生以上	350円 100円(材)500円 300円	那珂ふれあい館 ベルディーホール なかやちよの森公園	体験 体験 芸術 体験
14日	日	あったかハーブエスニック鍋 東山古墳群めぐり ミニぞうりホルダーづくり お菓子の家づくり 木の上の遊び場づくり②	那珂ふれあい館 八千代公民館 湖畔の広場	幼稚園児以上 小学3年生以上 どなたでも どなたでも	100円(材)400円 無料 150円 (材)200円 無料	那珂ふれあい館 中・みなみ児童館 なかやちよの森公園	体験 学習 体験 体験
20日	土	かんたん楽しい手芸教室 たぬきの糸車 青少年健全育成大会 おもしろ算数数学講座	那珂ふれあい館 ベルディーホール 八千代公民館	幼稚園児以上 どなたでも 小学5年生以上	100円(材)1500円 1月23日の参加者 無料 無料	那珂ふれあい館 社会教育課 八千代公民館	体験 体験 イベント 学習
21日	日	冬のバードウォッチング入門	湖畔の広場	小学生以上	無料	なかやちよの森公園	体験
27日	土	七宝焼き教室 秋には収穫ヒラタケづくり 子ども芸術発表会	那珂ふれあい館 湖畔の広場 中央公民館	幼稚園児以上 どなたでも どなたでも	100円(材)別途 500円 無料	那珂ふれあい館 なかやちよの森公園 社会教育課	体験 体験 交流
28日	日	もちもちジュシーイチゴ大福 陶芸体験(ひなまつり編) バードコール(バードウォッチング) みどりの森レンジャーになろう⑧	那珂ふれあい館 中児童館 湖畔の広場	幼稚園児以上 どなたでも 登録者	300円 2月13日の参加者 100円 300円(初)500円	那珂ふれあい館 中・みなみ児童館 なかやちよの森公園	体験 体験 体験



那珂ふれあい館「勾玉づくり」



冒険ひろば「夏野菜ピザ」



子連協「たこあげ大会」

■ごちゅうい■

- ・掲載しているイベントについては、日程・内容等が変更になる場合がありますのでご注意ください。
 - ・実施時間等の詳細については、各施設・イベントごとに配布されるチラシ等をご覧ください。
 - ・お申し込みについては、各イベントの申し込み受付開始後に可能となります。
- (なか・やちよの森公園のイベントについては、実施日の前月1日から受け付けが開始されます)

(お問合せ・申込み先電話番号) 社会教育課 32-1250 八千代公民館 37-0596 生涯スポーツ室 32-5151 那珂ふれあい館 32-0685
子ども課 32-5121 中児童館 32-2284 みなみ児童館 35-1420 企画情報課 32-2381
県立なか・やちよの森公園 30-0050

3月

日付	曜	内 容	会 場	対 象	参 加 費	お問合せ・申込先	分 類
3月6日	土	くみひも草履づくり さざ草の植え付け教室 お父さんと一緒に井当つくり 図書館まつり(～7日)	那珂ふれあい館 八千代公民館 多可町図書館	小学5年生以上 5才～小学の子どもと保護者 どなたでも	350円 600円 親子で1000円 無料	那珂ふれあい館 企画情報課 多可町図書館	体験 交流 イベント
7日	日	デコ勾玉づくり 藤工芸教室 ちぎり絵 第2回多可町キンボール交流大会	那珂ふれあい館 中児童館 アスパラアリーナ	幼稚園児以上 小学4年生以上 どなたでも どなたでも	350円 100円(材)1000円 (材)200円 一人300円	那珂ふれあい館 中・みなみ児童館 生涯スポーツ室	体験 体験 体験 スポーツ
13日	土	勾玉づくり ハーブ染めのコサージュづくり ジャガイモをつくらう①(うねづくり編)	那珂ふれあい館 湖畔の広場	幼稚園児以上 どなたでも	150円～200円 100円(初)500円(後)300円 無料	那珂ふれあい館 なかやちよの森公園	体験 体験
14日	日	カラフル勾玉づくり 東山古墳群めぐり 勾玉づくり	那珂ふれあい館	幼稚園児以上	200円 無料 150円～200円	那珂ふれあい館	体験 学習 体験
20日	土	勾玉づくり ちぎり絵教室 七宝焼き教室 木の上の遊び場づくり③	那珂ふれあい館 湖畔の広場	幼稚園児以上 どなたでも	150円～200円 100円(材)500円 100円(材)別途 無料	那珂ふれあい館 なかやちよの森公園	体験 体験 体験
22日	月曜	ジャガイモをつくらう②(植え付け編)	湖畔の広場	どなたでも	200円	なかやちよの森公園	体験
25日	木	勾玉づくり	那珂ふれあい館	幼稚園児以上	150円～200円	那珂ふれあい館	体験
27日	土	エコ紙すき体験 七宝焼き教室 かえっこパズル アートクレイシルバー(銀粘土講座)	那珂ふれあい館 交流会館 八千代公民館	幼稚園児以上 どなたでも 中学生以上	150円 アイロン 100円(材)別途 無料 2000円	那珂ふれあい館 中・みなみ児童館 八千代公民館	体験 体験 交流 体験
28日	日	かんたん楽しい手芸教室 草木染め体験	那珂ふれあい館	幼稚園児以上 小学4年生以下保護者同伴	100円(材)300円 100円(材)200円	那珂ふれあい館	体験

4月

日付	曜	内 容	会 場	対 象	参 加 費	お問合せ・申込先	分 類
4月2日	金	勾玉づくり	那珂ふれあい館	幼稚園児以上	150円～200円	那珂ふれあい館	体験
3日	土	親子で発掘体験 カラフル勾玉づくり	那珂ふれあい館	幼稚園児以上	150円 200円	那珂ふれあい館	体験
4日	日	勾玉づくり 森の工作(松ぼっくりが大変身)	那珂ふれあい館	幼稚園児以上	150円～200円 350円	那珂ふれあい館	体験
10日	土	かんたん楽しい手芸教室 七宝焼き教室	那珂ふれあい館	幼稚園児以上	100円(材)400円 100円(材)別途	那珂ふれあい館	体験
11日	日	勾玉づくり 東山古墳群めぐり デコ勾玉づくり	那珂ふれあい館	幼稚園児以上	150円～200円 無料 350円	那珂ふれあい館	体験 学習 体験

あっぱれ多可キッズ!

「あっぱれ多可キッズ!」では、学校園での活動や、地域活動、スポーツ等に頑張っている子どもたちをピックアップして特集します。



多可町で受け継がれている「播州歌舞伎」に、町内の小学生が触られる機会を上げようと、本年度から子ども歌舞伎教室「カブキッズたか」が活動を始めています。

今回は、「カブキッズたか」の活動の様子と、はじめての歌舞伎に取り組み子どもたちのがんばりを紹介します。

町内から集まった11人の子どもたちは、2月27日(土)に中央公民館で開催される「発表会」に向けて、月に2回の練習に励んでいます。

挑戦するのは播州歌舞伎の「寿式三番叟(ことぶきしきさんばそう)」。指導にあたるのは、播州歌舞伎役者の中村和歌若師匠と、中央公民館播州歌舞伎クラブのお姉さんたちです。

Q1 カブキッズたかに入ったきっかけを聞くと、「おもしろそうだったから。」「やってみたいと思ったから。」「学校でもやっていてもつとやりたいから。」「と前向きに、自分の意志で飛び込んできてくれたのがわかります。Q2 やっていて楽しいことは、「自由に踊れること。」「友達が増えたこと。」「など、様々ないことがあるようです。最後にQ3 発表会に向けての抱負を聞きました。一番多かったのは、「がんばりたいです。」「ということでした。」「難しいところもあるので、先輩にもつと教えてもらいたい。」「という言葉もありました。

播州歌舞伎を通じて交流を深め、成長していく子どもたち。今後の活躍に期待したいものです。



宮崎 彩矢音さん
(中町南小5年)
重本 玲奈さん
(中町南小4年)
常見 紀菜さん
(八千代西小3年)



神澤 玲花さん
(中町北小4年)
岸本 侑歩さん
(中町北小4年)
田中 朱音さん
(中町北小4年)

※他の5名は、学校行事の関係で撮影できませんでしたが、後日発表会の模様でとりあげます。

知っ得TakaTown

「知っ得TakaTown」では、多可町の子どもたちに対しての、地域の耳寄り情報や、おもしろスポットを紹介しています。

石の博物館
松内ミネラルコレクション

石の不思議魅力がたっぷり!

今回は、中区中村町にある「松内ミネラルコレクション」を紹介いたします。

「松内ミネラルコレクション」は、1つ多くの石を、ひとりでも多くの人に知ってもらおうと、平成元年に生まれた兵庫県最大の石の博物館です。展示されているのは、日本産の鉱物が中心で、岩石・鉱物・化石の標本が、約42,000点もあります。この「松内ミネラルコレクション」館長の松内茂さんからのメッセージです。

身近な自然を

調べてみませんか?

鉱物(ミネラル)は、どの部分を取っても同じものの集まり。岩石は2つ以上の鉱物が集まったもの。

これらの鉱物の成分や特徴を知ることとて、人は昔からの生活文化を作ってきました。また、それを分けることで金属(金・銀・銅・鉄)や非金属(ガラス・セトもの)、薬品(硫酸・絵の具)を作り、今ではもっと細かく分けて元素まで作り出すことができます。

わたしたちの生活に欠かせない鉱物には、多可町でもいろんなものが見られます。身近な自然をみんなが調べて、新しい発見をしてみませんか?

松内さんと鉱物との出会いは、小学校4年生の時。当時の宿題で石を調べたことがきっかけで、石のことをもっととくわしく知りたいと思うようになったそうです。それからいろんな鉱物の研究をされ、これからも、まだまだ研究はつづきます。

◎休館日 日曜、祝日、水曜
◎入館料 無料



サーベリ石(加美区観音寺産)



牡蠣殻状方解石(中区安楽田産)



黄鉄鉱(加美区多田産)

松内ミネラルコレクション

〒679-1113 多可郡多可町中区中村町260
TEL/FAX: 0795-32-3626

※ご意見・ご感想をお寄せ下さい

【お問い合わせ先】 多可町教育委員会社会教育課 TEL:0795-32-1250 E-mail:shakaikyoku@takacho.jp